



特定非営利活動法人 広瀬川の清流を守る会  
 〒982-0011 仙台市太白区長町一丁目7-37-5  
 ☎022-247-6522 ☎022-290-3205  
<http://www.hirosegawa.com> メール info@hirosegawa.com

9月初旬に襲来した大型台風は仙台に被害もなく無事過ぎ去りました。多少、水かさが高くなりましたが、岸辺ではススキがそよんでいます。さて、下記市民協働事業に申請し、広瀬川の減少したアユ再生に向けた協働事業を開始します。対象は、仙台市経済局農林土木部が所管する愛宕堰、郡山堰と両魚道の改善です。課題は、「利水と環境」のバランスが取れた河川行政に対する市政について、理解を得られるかが大きな関門です。ぜひ各位のご協力をお願い致します。



(広瀬橋上流9/11)

<8月報告>

- 8/1 国交省仙台河川国道事務所 協力団体活動報告(会議)
- 8/10 河川清掃 郡山堰からJR鉄橋間迄約600mの両岸河川敷の中から塩ビ管、看板等。河川敷ではバーベキューのビニール・ピンカン、ペットボトル等を回収。(参加 19名)
- 8/20 (実行委員会主催) 広瀬川灯ろう流し(会長、会員協力)
- 8/27 市サポセン 市民協働事業提案制度説明会(高橋理事出席)

<9月~10月予定>

- 9/14 (土) 10:00~ 河川清掃 広瀬橋集合 軍手、長靴、長袖、長ズボンで参加下さい。
- 10/12 (土) 10:00~ 河川清掃 広瀬橋集合(終了後に芋煮会)



愛宕堰と魚道(左岸)



郡山堰と魚道(左岸)

市民協働事業「アユが遡上できる川づくり」

期間 令和2年4月~同3年3月



昨年のサクラマス大量死、本年7月の広瀬川のアユ減少について、河北新報が報じました。毎年発生する魚類への死は、県内水面水産試験場や広瀬名取川漁

協組合の調査から愛宕堰、郡山堰の堤体、両魚道の老朽化、他様々な要因から水無し川となって水温が上昇、酸欠状態が発生し、サクラマス、アユ等の死に至ることが明らかになりました。このことに関し、本会は、市、県、国交省、関係団体との連携協力を基に様々な課題を検討し、市民協働事業を提案。市管理の堰魚道の改善を協働による「アユが遡上できる川づくり」実現に向けたプロジェクトを目指します。ご支援、ご協力をお願いします。日下